

非開示希望の申出書

令和5年2月鹿児島家庭裁判所暫定版

その情報を相手に知られることで、生命・身体に危険が生じるなど生活をする上で支障があるものの、当該情報が記載された書面が審理や手続の進行に必要な情報である場合や原本そのものの提出が求められる場合、提出する書面ごとに、この書面と同時に毎回、提出してください。

- 1 その情報は必要ですか(まずは、相手に伝えてもよい情報のみを記載してください。あなたが作成したものではない書面の場合、必要ない部分は、マスキング処理した上で提出してください。)

～マスキング処理の具体的方法～

- 1 まずは当該書面のコピーを作成してください。
- 2 1で作成したコピーの該当部分を黒ペン等で塗りつぶした上でさらにコピーしてください(原本を直接、塗りつぶさないように注意してください。)

マスキング処理で対応できる場合、冒頭記載のとおり、本書面は不要です。

- 2 その情報を相手に知られることで、生命・身体に危険が生じるなど生活をする上で支障がありますか(単に隠したいという気持ちだけでは隠せません。)

- 3 提出する書面の中の、その情報がある部分にマーカー等で色付けして特定してください。この申出書とマーカー等で色付けしたままの書面をステープラー(ホチキスなど)で留めてください。

- 4 非開示を希望しても、裁判官の判断により他方当事者に開示される場合があります。裁判官は下記理由を参考に判断しますので必ず具体的に書いてください。

上記1から4を確認の上、別添書面のうちマーカー等で色付けした部分については、他方当事者に非開示とする(見せない)ことを希望します。

非開示を希望する理由(該当する□にチェックした上、その具体的理由を書いてください。)

- DV保護命令発令あり ストーカー規制法に基づく警告あり
DV等支援措置の実施決定あり 警察への相談あり その他

事件番号 令和____年(□家、□家イ)第_____号

令和____年____月____日 氏名_____

.....(裁判所処理欄).....

令和____年____月____日 裁判官印

上記につき、全て・一部()を非開示情報として取り扱う。

上記につき、非開示情報として取り扱わない。

令和____年____月____日 申出人に連絡済 裁判所書記官

非開示を希望する書面を次のページとしてステープラー(ホチキスなど)で留めてください。